

令和6年度 長井市立豊田小学校 学校経営方針

1 学校教育目標

- | | |
|-----|--------------------|
| 【知】 | よく学び 力を高めていく子ども |
| 【徳】 | 心やさしく ひとのために役立つ子ども |
| 【体】 | すこやかで 力いっぱい活動する子ども |

2 令和6年度学校スローガン

『共育・協創』

共：学校・家庭・地域ともに手を携えながら、子どもを育て、子どもと共に育つ
協：多様性を尊重しながら、心と力を合わせ豊田小学校をつくりあげていく

3 目指す子ども像

- | |
|--------------------------------|
| ① 多様性を尊重し合い、笑顔あふれ、やさしい子ども |
| ② 自分や友達のよさがわかり、大切にできる子ども |
| ③ 確かな学力を身に付け、課題を解決しようとする子ども |
| ④ 心身ともに健康で、挑戦し続ける子ども |
| ⑤ 地域（豊田地区）のよさがわかり、大事にしようとする子ども |

4 目指す学校像

- ① 子どもが安心して通い、学び、仲間と時間を共有できる学校
- ② 保護者と思いを共有し、子どもの成長と発達を支えることができる学校
- ③ 地域の方々が誇れる集える学校
- ④ 教職員のよさが発揮できる学校

5 目指す教職員像

- ① 子どもの心と命、学びを最優先に考える教師
- ② 子どもの良さや可能性を見つけ、引き出し伸ばす教師
- ③ 謙虚で心の通い合う人間関係を築ける教師
- ④ 子どものために常に学び続け、組織として高まる高めあう教職員集団

6 経営方針

国の方針（第4期教育振興基本計画や学習指導要領等）、第6次山形県教育振興計画（目指す人間像：「学びを生かす人」「いのちをつなぐ人」「地域をつくる人」）、置賜教育事務所「おきたまの教育」及び、第3期長井市教育振興計画や“令和6年度長井市の重点”、「長井の心」を受け、かつ本校の実態等を踏まえ「人間力の育成」を教育活動全般で展開する。

- （1）「子ども真ん中」の精神を持ち、子ども達が心身ともに健全で、安心して学校生活を送ること

- ができる学校経営に努める。 【安心安全の学校づくり】
- (2) 常に危機管理意識を持ち、情報共有を行いながら未然防止・早期発見早期対応に努める。 【危機管理体制の維持・強化】
- (3) ねらいやつけたい力を明確した、学びを実感できる45分間の授業を保障する。 【学力向上・授業の充実】
- (4) 各教科や実生活等との関連も意識しながら教育効果のある指導体制づくりを図る。 【働き方改革の推進と教育課程の一体化】
- (5) 多様性を尊重し認め合える雰囲気を醸成し、自分や友達の良さや違いを受け止めることができるインクルーシブな学校・学年経営に努める。 【特別支援教育の充実】
- (6) 長井校との連携、幼保小交流、他校との交流学习や地域行事など、多様なかかわりを通して自尊感情と共生の心の醸成を図る。 【コミュニケーション力の育成・特別支援教育の充実】
- (7) 保護者や地域の方々の理解や協力、信頼を高めるために、学校だよりやHP等で情報発信を定期的に行うとともに、学校評価等を活かして教育活動活性化を図る。 【情報共有と学校評価の有効活用】【スクール・コミュニティの機能構築】
- (8) 豊田少年少女獅子踊りの継承や地域に学ぶ学習等を通して、郷土を愛し、良き伝統風習を守り引き継ぐ意識醸成を図る。 【郷土愛醸成】

7 重点と具体策

令和6年度 長井市の重点

【1】確かな学力の育成【2】多様性の尊重と特別支援教育【3】スクール・コミュニティの構築

重点1 確かな学力の定着や達成感を与える授業づくり【1】

- ① 「問い」を常に意識し、自ら学ぶ目的を明確にした授業の工夫
～課題を解決する力が身につく、学びを実感できる授業づくり
- ② 個に応じた学習指導（基礎基本の定着徹底）を大事にし、かつ中上位層の学力を伸ばすための指導過程の工夫
～音読と百ます計算の継続、解決する価値のある課題設定、学びの実感
- ③ 家庭学習の習慣化と内容の充実
～ICTの活用、実生活に結び付く学びの連携、意欲につながる点検等
- ④ 家庭とも連携した読書活動の充実
～発達段階に応じた読書指導、PTAとの連携、校内読書週間の実施
- ⑤ 授業者同士の実践交流による授業力向上
～研修（見合う、教えあう）などを通して、各自の実践積み上げを図る。

重点2 思いやり、感動、成就感、自尊感情の醸成【2】

- ① 自分や相手の良さを認識し、自尊感情を育成する活動を推進する。
～小さな成功体験を味わえる場を設定し、認め、励まし、自信を持たせる。
～自他の良さを認め合う場を設定する。

- ② いじめを見逃さない、放置しない体制づくり
 ～互いを認め合い、温かで人間的なふれあいのある学級づくりを進める。
 ～個人の判断によらず、報告・連絡・相談を徹底し、未然防止に努める。
- ③ 特別支援教育の一層の推進
 ～個の特性を理解・尊重し、必要な合理的配慮を子どもも教職員もおこなう学校風土を醸成する。
- ④ 不登校（傾向含む）児童に適切に対応できる学校・学年づくりを推進する。
 ～小さな変化に気づく目と、情報交換や共有しあえる体制を整える。（報告・連絡・相談の徹底）
 ～児童一人一人の学びの保障をするために、関係者・関係機関との連携を深める。
- ⑤ 横の交流と縦の交流の一層の推進
 ～長井校との交流や他校との授業交流、豊田児童センターを含めた他の保育施設との交流を深め、様々なかかわりを体験させることで、共生への意識を高める。

重点3 めあてを持って健康・体力づくりに取り組みせ、心身ともに健康な豊田っ子の育成【3】

- ① 「できる・のびる」達成感を味わえる教科体育の展開
 ～つけたい力や達成目標を明確にするとともに、運動量の確実な確保
- ② 達成目標に向けた挑戦しようとする態度の育成
 ～成長の証が見える学習プリントや記録カードの工夫
 ～集中期間での取組み実施
- ③ 「いのちの学習」（性教育・薬物乱用防止・喫煙防止・食育等）の確実な実施
 ～外部講師招聘や、実施内容についての通信等を利用した家庭への周知
- ④ 生活リズム（食生活・メディア・衛生等）の確立や改善
 ～PTAや南中との連携（実施時期や内容等）
- ⑤ 危機管理意識を育てる安全指導・防災教育
 ～情報モラル、不審者対応、工夫した避難訓練等の実施

重点4 スクール・コミュニティーの機能構築を目指した学校づくり

- ① 学校運営協議会の機能強化と豊田コミセン等との連携推進
- ② 行事や授業支援をとおした学校力と地域力の活性化
 ～運動会や授業支援（行事役員補助、授業等支援体制構築）
- ③ 登下校時の見守り体制の連携強化

令和6年度

日 課 時 限 表

	月	火	水	木	金
8:20	児童登校・職員出勤				
	朝の会(健康観察)				
8:35 ₁₅	学級の時間(読書)	全校朝会 学級の時間(習熟)	学級の時間(百ます)	学級の時間(習熟)	学級の時間(習熟)
8:40 ₅	1 校 時				
9:25 ₄₅					
9:30 ₅	2 校 時				
10:15 ₄₅					
予鈴	中 間 休 み				
10:35 ₂₀	3 校 時				
10:40 ₅					
11:25 ₄₅	4 校 時				
11:30 ₅					
12:15 ₄₅	給 食 ・ 歯 磨 き				
13:10 ₅₀	昼 休 み				
予鈴					
13:25 ₂₀	清 掃 (ロングヒルトヨガ塾)				
13:30 ₅					
13:45 ₁₅	清 掃	5 校 時 13:30~14:15	清 掃	5 校 時	
13:50 ₅					
14:35 ₄₅	5 校 時	予鈴 14:15	5 校 時		
14:50 ₁₀					
14:55	帰りの会	6 校 時 14:20~15:05	帰りの会		
15:05	下校 14:55		下校 14:55 通学班会 15:05	下校 14:55	下校 14:55
15:20	15:15~ 職員打ち合わせ 職員研修	帰りの会	15:15~ 職員会議 学校研究会 指導部会 学年ブロック会議	6 校 時 14:55開始 クラブ~15:55 委員会~15:40	教材研究
15:25		下校 15:25			
15:40	教材研究 等	教材研究 等	教材研究 等	下校 16:00	教材研究 等
15:45				教材研究 等	

1・2年
4校時下校
14:10